

平成 29 年 2 月 14 日

各 位

会 社 名 ピクセルカンパニーズ株式会社  
 代 表 者 名 代表取締役社長 吉田 弘明  
 (コード番号 2743 JASDAQ)  
 問 合 せ 先  
 役職・氏名 取締役副社長兼コーポレート本部長 本瀬 建  
 電 話 03-6731-3414

## 平成 28 年 12 月期連結業績と前期実績との差異に関するお知らせ

平成 28 年 12 月期（平成 28 年 1 月 1 日～平成 28 年 12 月 31 日）の連結業績につきまして、前期実績との間で差異が生じたので、お知らせいたします。

### 記

#### 1. 平成 28 年 12 月期通期連結実績と前期実績との差異

|                           | 連結売上高         | 連結営業利益    | 連結経常利益    | 親会社株主に<br>帰属する当期<br>純利益 | 1 株当たり当<br>期純利益 |
|---------------------------|---------------|-----------|-----------|-------------------------|-----------------|
| 前期（平成 27 年 12<br>月期）実績（A） | 百万円<br>15,921 | 百万円<br>45 | 百万円<br>34 | 百万円<br>1                | 円銭<br>0.26      |
| 当期（平成 28 年 12<br>月期）実績（B） | 17,678        | △174      | △181      | 97                      | 11.69           |
| 増減額（B-A）                  | 1,756         | △220      | △215      | 95                      |                 |
| 増減率（%）                    | 11.0          | —         | —         | —                       |                 |

#### 2. 差異の理由

平成 28 年 12 月期は、新たな事業の獲得により前期に比べ売上高が増加したものの、企業価値向上に向けた先行投資が増加したことや、不採算事業の整理等で費用が増加したことにより前期に比べ連結営業利益、連結経常利益が減少いたしました。一方、中央電子工業株式会社を子会社化した際に発生した負のれん益を計上したこと等により、親会社株主に帰属する当期純利益は前期に比べ増加いたしました。

なお、詳細につきましては、本日発表いたしました「平成 28 年 12 月期決算短信〔日本基準〕（連結）」をご参照ください。

以上